

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名		文化芸術による次世代人材育成プロジェクト		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室	文化庁芸術文化課 文化財部伝統文化課		芸術文化課長 舟橋 徹 伝統文化課長 湊屋 治夫		
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-1 芸術文化の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		文化芸術振興基本法 第16条、第24条		関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)		若手クリエイターや新進芸術家、創造性豊かな子どもの育成など、クールジャパン戦略の推進や、未来への先行投資による「強い人材」の実現を図り、文化芸術による創造的な産業育成と新たな雇用の創出を通じて、元気な日本を復活させる。 新進芸術家等が基礎や技術を磨いていくために必要な舞台などの実践の機会や、広い分野に関する知識を身につける場を提供するとともにその基盤整備を図り、次代を担い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家の育成等に資する。 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に芸術家を派遣することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる。							
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)		(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演・展覧会、分野の枠を超えた若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、その他新進芸術家の育成に資する事業を実施。 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 対象：小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒 【巡回公演事業】 文化庁において選定した優れた舞台芸術(オーケストラ、バレエ、演劇等)を行う団体が、学校の体育館等で公演を実施するほか、事前ワークショップや公演時に子どもたちとの共演を行う。 【派遣事業】 個人の芸術家や小グループの芸術家を学校等に派遣し、講話、実技披露等を実施する。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算				5,740	5,346	5,346
			補正予算				-	-	
			繰越し等				-	-	
			計				5,740	5,346	5,346
		執行額				5,660			
執行率(%)				98.6%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
		(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 研修・発表の機会を提供した新進芸術家の毎年度延べ人数 ※人材育成については、その成果が出るまで長期間を要するものであり、指標の策定は困難である。	成果実績	人				集計中	2,500
			達成度	%				集計中	
		(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「舞台芸術への関心を高めることができた」と回答した開催校の割合	成果実績	%				97.2	100
達成度	%					97.2			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 事業実施件数	活動実績 (当初見込み)					73 (45事業)	— (38事業)
			(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 子どもたちが文化芸術に触れられる機会の提供 (学校等における巡回公演数及び学校等への芸術家派遣力所数)	活動実績 (当初見込み)				巡回公演1,610公演 派遣1,832力所 (巡回公演1,507公演) (派遣2,474力所)	— (巡回公演1,507公演) (派遣2,474力所)
単位当たり コスト		(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 13.2(百万円/1事業あたり) (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 巡回公演事業(2,543,396円/公演) 派遣事業(231,666円/力所)		算出根拠	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 平成23年度実績額 960百万円/73事業 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 巡回公演事業: 4,094,867,000円/1,610公演 (再委託費+児童・生徒の移動にかかる経費)/実施公演数 派遣事業: 424,412,141円/1,832力所 (講師派遣にかかる経費(謝金・旅費・諸雑費)/実施力所数)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳			24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		2百万円	2百万円					
	職員旅費		2百万円	2百万円					
	委員等旅費		2百万円	2百万円					
	庁費		1百万円	1百万円					
	文化芸術振興委託費		5,339百万円	5,339百万円					
	計		5,346百万円	5,346百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 次代を担う新進芸術家の育成は国の責務であり、芸術分野において国が実施することを強く実施を求められている。また、芸術各分野を総合的に実施し得る団体は国のほかにはない。 なお、内閣府の世論調査では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%にのぼり、4.4%の者が文化芸術を支える人材の育成について国に力を入れてほしいとの回答をしている。また、第三次基本方針においても、芸術家等の人材育成は重点的に取り組むべき施策としてあげられている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に芸術家を派遣することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力を涵養し、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上を図ることは国の責務である。 また、文化庁が行ったアンケート調査では、本事業により当該分野の公演を初めて体験した子どもの割合は84.3%にのぼり、子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を提供する上で、本事業は極めて重要な役割を果たしていると言える。また、平成23年度に文化庁が実施した第三次基本方針においても、子どもが「学校等において本物の文化芸術に触れること」を「重点戦略3 子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実」として位置づけている。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	また、文化庁が行ったアンケート調査では、本事業により当該分野の公演を初めて体験した子どもの割合は84.3%にのぼり、子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を提供する上で、本事業は極めて重要な役割を果たしていると言える。また、平成23年度に文化庁が実施した第三次基本方針においても、子どもが「学校等において本物の文化芸術に触れること」を「重点戦略3 子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実」として位置づけている。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 支出先の選定にあたっては、企画競争を実施するとともに、再委託先の選定にあたっては、有識者からなる委員会において選定を行っている。また、中間段階での支出についても、事業執行に必要な経費であり、支出は合理的である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	また、企画提案要領のペーパーレス化を実施するなど、経費の削減に努めている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 支出先の選定にあたっては、企画競争を実施するとともに、再委託先の選定にあたっては、有識者からなる企画委員会において選定を行っている。また、中間段階での支出についても、事業執行に必要な経費であり、支出は合理的である。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	さらに、巡回公演の実施にあたっては、限られた予算の範囲内で、より多くの子どもたちが体験できるよう、新作ではなく既に実施されている演目したり、連続した公演日とすること等により、単位当たりの公演経費の節減に努めている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 本事業における年鑑等の成果物については、一般に広く公開されており、十分に活用されている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 将来の芸術家や鑑賞者の育成を図るうえで、子どもたちに文化芸術の鑑賞機会と芸術家との共演や交流を体験する機会を提供する本事業は、鑑賞のみの事業に比べ、実効性が高い。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	また、成果指標である、子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「舞台芸術への関心を高めることができた」と回答した開校校の割合は97.2%となっており、目標値の100%に近い数字となっている。
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 本事業については、芸術分野において国が実施することを強く実施を求められている事業であり、会計面においても適切に実施されている。なお、芸術分野において、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも適切に事業を実施していく必要がある。</p> <p>(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 本事業は、第三次基本方針の重点戦略に位置づけられている事業であり、教育委員会や学校からも国による実施を強く求められている事業である。また、支出先の選定においても競争性が確保されおり、会計処理についても適正になされている。さらに、将来の芸術家や鑑賞者の育成を図るうえで、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも国が適切に事業を実施していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:本事業は、次代の文化を創造する新進芸術家の育成及び次代を担う子どもの文化芸術体験を促進することにより、未来への先行投資による「強い人材」の実現を図り、文化芸術による創造的な産業育成と新たな雇用の創出を図る事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業のうち、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」については執行状況に大きな問題はないものの、積算の再検証など、引き続きコスト削減に努めるべきである。また、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」については、平成24年度予算において既に縮減を実施しているところ、引き続き効率的な執行に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」は事業のより効果的な実施に資するため、検証事業費について概算要求するとともに、箇所数の見直し等により文化芸術振興委託費を縮減する。また、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」については、職員旅費についてより予算執行の効率化を図る。</p> <p>これらにより、あわせて概算要求に▲26百万円反映した。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
【文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)】 http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0084

※平成23年度実績を記入

諸謝金 2百万円
職員旅費 1百万円
委員等旅費 2百万円
庁費 0.1百万円 } を含む

文化庁
5,660百万円

(1) 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

(2) 次代を担う子どもの文化芸術体験事業

若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演・展覧会、分野の枠を超えた若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、伝統芸能に係る次世代の人材の確保に資する事業、その他新進芸術家の育成に資する事業を実施。

文化庁において選定した優れた舞台芸術（オーケストラ、バレエ、演劇等）を行う団体が、学校の体育館で公演を実施するほか、事前ワークショップや公演時に子どもたちと共演を行う。また、個人の芸術家や小グループの芸術家を学校に派遣し、講話、実技披露等を実施する。

【公募・委託】

【公募・委託】

A (株)JTBコミュニケーションズ
820百万円

C (株)JTBコミュニケーションズ
4,473百万円

若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演・展覧会、分野の枠を超えた若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、その他新進芸術家の育成に資する事業の執行に必要な事務を行う。

文化庁において選定した優れた舞台芸術（オーケストラ、バレエ、演劇等）を行う団体が、学校の体育館で公演を実施するほか、事前ワークショップや公演時に子どもたちと共演を行い、個人の芸術家や小グループの芸術家を学校に派遣し、講話、実技披露等を実施するために必要な事務を行う。

【公募・再委託】

【公募・再委託】

B 芸術団体等
47団体
801百万円

D 芸術団体等
98団体
4,061百万円

若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演・展覧会、分野の枠を超えた若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、その他新進芸術家の育成に資する事業を実施

文化庁において選定した優れた舞台芸術（オーケストラ、バレエ、演劇等）を行う団体が、学校の体育館で公演を実施するほか、事前ワークショップや公演時に子どもたちと共演を行う。

【公募・委託】

【公募・委託】

E 芸術団体等(伝統芸能等)
27団体
139百万円

F 民間団体等
24団体
223百万円

伝統芸能等における若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演、若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、次世代の人材の確保に資する事業、その他新進芸術家の育成に資する事業を実施

文化庁において選定したNPO法人等が都道府県と連携し、芸術家等と学校との間の連絡調整を行い、個人の芸術家や小グループの芸術家を学校に派遣し、講話、実技披露等を実施するために必要な事務等を行う。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)JTBコミュニケーションズ			E.特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	新進芸術家の育成に必要な公演・研修等の実施	801	事業費	人材確保を目的とした体験入門研修、講習会等の実施	21
人件費	事業実施に係る人件費	12			
雑役務費	ホームページ作成、管理システム構築等	2			
その他	通信運搬費、消耗品費	2			
印刷製本費	審査資料、採択団体用手引き等	1			
一般管理費	一般管理費	2			
計		820	計		21
B.社団法人 日本劇団協議会			F.特定非営利活動法人 中野ケアセンターterrace		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	新進芸術家の育成に必要な公演・研修等の実施	156	旅費	派遣事業に係る講師及び事務局の旅費	19
			諸謝金	派遣事業に係る講師謝金	7
			人件費	事業実施に係る人件費	5
			一般管理費	一般管理費	3
計		156	計		34
C.(株)JTBコミュニケーションズ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	本公演及び事前ワークショップに要する経費	4,061			
諸謝金	派遣事業に係る講師謝金	170			
旅費	派遣事業に係る講師及び児童生徒移動旅費	120			
人件費等	事業実施に係る人件費・広報経費等	85			
一般管理費	一般管理費	37			
計		4,473	計		0
D.(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	子どもたちに優れた文化芸術の体験機会提供する公演等の実施	95			
計		95	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	新進芸術家の育成に資する事業の執行に必要な事務を行う。	820	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	156	企画競争	—
2	社団法人 日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト	57	企画競争	—
3	日本演出者協会	次代の若手演出家育成事業	55	企画競争	—
4	社団法人 日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	46	企画競争	—
5	社団法人 日本児童演劇協会	児童青少年演劇「新進芸術家育成公演」	41	企画競争	—
6	特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク	「踊りに行くぜ!!!」II(セカンド)	39	企画競争	—
7	財団法人 新国立劇場運営財団	エトワールへの道程2012 新国立劇場バレエ研修所の成果	34	企画競争	—
8	株式会社 アート・ベンチャー・オフィス ショウ	文化庁在外研修制度45周年記念 未来を担う芸術家たち DOMANI・明日展—文化庁在外研修の成果	34	企画競争	—
9	社団法人 現代舞踊協会	現代舞踊新進芸術家育成Project	32	企画競争	—
10	財団法人 舞台芸術財団演劇人会議	世界をめざす劇場芸術家養成事業—利賀演劇人コンクール(仮)	25	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	優れた舞台芸術の公演(巡回公演事業)、または学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	4,473	企画競争	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「カルメン前奏曲」ほか)及びワークショップ)	95	企画競争	—
2	(特活)関西フィルハーモニー管弦楽団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「舞踏会の美女」ほか)及びワークショップ)	95	企画競争	—
3	(財)東京フィルハーモニー交響楽団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「カルメン前奏曲」ほか)及びワークショップ)	86	企画競争	—
4	(一財)大阪シンフォニカー協会	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「スター・ウォーズよりメインテーマ」ほか)及びワークショップ)	86	企画競争	—
5	(社)山形交響楽協会	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「スイスの行軍」ほか)及びワークショップ)	82	企画競争	—
6	(社)大阪フィルハーモニー協会	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「ウィリアムテル行進曲」ほか)及びワークショップ)	82	企画競争	—
7	(一社)セントラル愛知交響楽団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「天国と地獄」ほか)及びワークショップ)	77	企画競争	—
8	(特活)京都フィルハーモニー室内合奏団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「運命」ほか)及びワークショップ)	77	企画競争	—
9	(特活)音楽ネットワーク	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「ハロー・ディズニー」ほか)及びワークショップ)	73	企画競争	—
10	(特活)中部フィルハーモニー交響楽団	巡回公演の実施(本公演(オーケストラ/「スイス軍の行進」ほか)及びワークショップ)	73	企画競争	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会	こども歌舞伎育成事業	21	企画競争	—
2	社団法人伝統歌舞伎保存会	小学生のための歌舞伎体験教室	19	企画競争	—
3	公益社団法人 能楽協会	さわってみよう 能の世界	15	企画競争	—
4	社団法人 日本舞踊協会	平成24年各流派合同新春舞踊大会	12	企画競争	—
5	石州半紙技術者会	石州半紙人材育成	11	企画競争	—
6	一般社団法人 日本伝統芸術国際交流協会	次世代を担う伝統芸能の新進芸術家育成公演「集まれ!次世代の表現者たち」	9	企画競争	—
7	社団法人 国際演劇協会	「伝統芸能ワークショップ — 身体表現の基礎を学ぶ/日本舞踊を中心に」	6	企画競争	—
8	文化財庭園保存技術者協議会	文化財庭園保存管理技術技術育成研修	5	企画競争	—
9	公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座	江戸糸あやつり人形 結城座人形遣い体験育成入門	4	企画競争	—
10	一般社団法人 全日本刀匠会事業部	上古刀製作に関する技術研修会	4	企画競争	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(特活)中野ケアセンター terrace	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	34	企画競争	—
2	次代を担う子どもの文化芸術体験事業(派遣事業)岩手県実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	20	企画競争	—
3	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」みやぎ実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	20	企画競争	—
4	仙台市震災復興のための芸術家派遣事業実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	20	企画競争	—
5	ふくしま次代を担う子どもの文化芸術体験事業実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	20	企画競争	—
6	(特活)芸術家と子どもたち	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	11	企画競争	—
7	(特活)子ども劇場東京都協議会	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	10	企画競争	—
8	(財)盛岡市文化振興事業団	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	8	企画競争	—
9	(特活)いわてアートサポートセンター	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	8	企画競争	—
10	(財)大村市振興公社	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	8	企画競争	—